## 地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み（砂原地域）

**●漁業体験や食育など漁業・魚食文化の維持（継続事業）**

### （1）地域マリンビジョンにおける取組内容（Plan）

| | | |
|---|---|---|
| 地域 MV における取組の位置付け | **【地域の将来像】**<br>・次世代への漁業継承に向けた人材育成　・漁港施設用地や沿岸水域を活用した漁業体験の推進<br>・近隣町間での食材提供等の連携強化　・食育等を通じた魚食文化の維持<br>**【主な取組】**<br>①　漁業体験や食育など漁業・魚食文化の維持<br>②　多様な協働によるイベント関連への支援 | 取組場所<br> |
| 取組内容に関連する実施の現状と課題 | ・漁業振興を担う人材の確保と育成強化　・水産業と観光、教育などの多様な連携の推進<br>・人手不足を補うオンライン授業等の推進　・都市部との交流イベントの増大<br>・漁村地域の関係人口の創出 | |
| 取組による効果（数値目標） | ①　食育教育実施回数<br>②　イベント数、参加者数 | |

### （2）取組内容・実施体制（Do）

| | |
|---|---|
| 取組内容、方法、手順、実施体制 | ・砂原漁協（地域振興専門部会・女性部・青年部）、森町役場<br>・砂原漁港・市場見学　（さわら幼稚園園児対象）<br>・ホタテ耳吊り体験授業　（さわら小学校３年生対象）<br>・ホタテ調理実習、漁業の歴史出前授業　（さわら小学校４年生対象）<br>・ロープワーク出前授業　（さわら小学校５年生対象）<br>・マダラ調理実習・マツカワ稚魚放流事業（さわら小学校６年生対象）<br>・刺し網漁業・網外し体験授業　（砂原中学校１年生対象）<br>・漁業の歴史出前授業　（砂原中学校２年生対象）<br>・地方創生伴走支援官の受入れ<br>・武蔵野美術大学・福島大学生の受入れ |

### （3）効果項目に対する評価（Check）

| | |
|---|---|
| 数値目標の達成度評価 | ・地元の幼稚園児対象が１回、小学校は 3～6 年生児童を対象に 6 回、中学校は１年生生徒を対象に１回実施。砂原漁港を中心とした各種漁業体験や水産物を活用した授業を展開できた。また、今年度は森町が国の地方創生伴走支援制度の対象となり支援官が砂原漁港や荷さばき施設の視察に訪れた際は、砂原産水産物およびほたて昆布きんちゃくを味わいながら、前浜の現状や課題について情報共有した。さらに武蔵野美術大や福島大学生らに対しては浜の母さん指導の下、ほたて昆布きんちゃく作りやその日水揚げされた新鮮なマツカワの刺身作りなどを通じて砂原水産業の魅力を PR することが出来た。 |
| 反省点 | ・実施毎の対外的な PR が不足していた。 |

### （4）取組の改善措置（Action）

| | |
|---|---|
| 取組内容の改善点 | ・定期的なウェブサイト等を通じた取り組み内容の発信を実施する。 |
| 取組の実施に必要なもの | |

### 関連資料

【取組の様子】

・地方創生伴走支援官による現地視察

・福島大学生らとの交流事業

・小学５年生児童らを対象にした出前授業